資料３

区民会議交流会次第

平成２２年３月１４日　１３時～
中原市民館多目的ホール

１　市長あいさつ

２　自己紹介

３　各区取組状況の説明

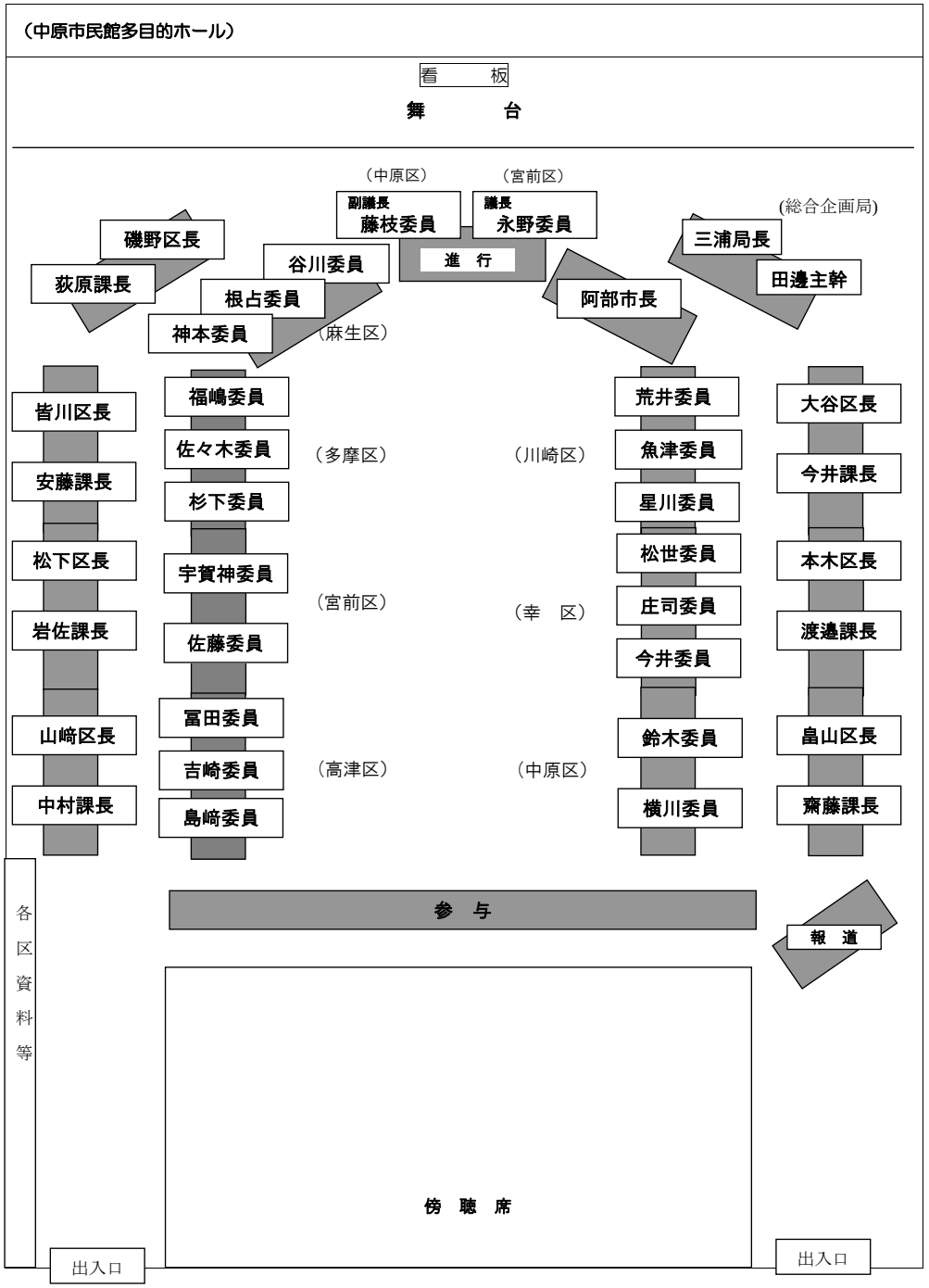
４　意見交換
（１）地域課題の把握方法について

（２）区民会議提言の実現について

（３）第３期区民会議に向けて　ほか

５　市長総括

席　次　表



第２期区民会議の取組状況

■各区区民会議の状況（２２年２月時点）

区	審議テーマ	課題専門部会	課題解決に向けた取組の方向性	報告等
川崎区	◆手をつなごう、地域のつながり	◎地域力・つながり部会	●スポーツを通じた交流の推進 ●シニア世代の地域活動参加促進ツアーの開催 ●防災訓練への外国人市民や障害者などの参加促進 ●外国人市民向けメルマガの配信　など	■21年４月 中間報告 ■２２年2月27日 集会
	◆地球環境とエコ	◎区民が取り組む環境エコ部会	●緑のカーテンづくり ●第１期の「まちを花で飾る活動」の拡充 ●環境意識向上ポスターの作成 ●環境エコ期間（週間）の設定　など	
幸　区	◆地域防犯活動の推進	◎安全・安心・生きがい部会	●わんわんパトロールのモデル実施 ●あいさつ運動の推進 ●万引きを防止するための大型店舗への働きかけの検討	■21年5月 中間報告 ■22年３月20日 フォーラム
	◆自転車通行のマナー向上		●ルール遵守・マナー向上の推進	
	◆地域コミュニティ活動の推進	◎子育て・環境・魅力づくり部会	●町内会・自治会活動の魅力と必要性を伝える取組推進 ●大規模マンション居住者の町内会・自治会への加入実態把握 ●夢見ヶ崎周辺の魅力の活用によるコミュニティ活動の推進	
中原区	◆地域で取り組む放置自転車問題	◎課題調査部会	●自転車利用者に対するマナー・モラル啓発活動 ●駅周辺の商店街における放置自転車対策の取組推進 ●地域における放置自転車対策の取組との連携 ●小杉駅をモデル地区として駐輪場への的確な誘導と利用促進キャンペーンの実施を検討　など	■21年４月 中間報告 ■22年5月 市民報告会（予定）
	◆これからの地域コミュニティづくりを考える		●地域コミュニティの場の創出 ●地域コミュニティ活性化のための事業を実施 ●町内会・自治会活動を活性化するための支援　など	
	◆まちの魅力を見つける		●なかはらの歌による魅力の発信・共有 ●写真によるまちの魅力の発信・共有 ●中原区魅力紹介冊子による魅力の発信・共有　など	
高津区	◆環境まちづくり	◎企画運営会議	●緑のカーテン大作戦の展開 ●エコ・エネライフコンクールの開催	■21年３月 中間報告 ■21年11月28日 フォーラム
	◆地域防災とコミュニティ		●災害用備蓄倉庫の現地調査 ●防災に関する区民ニーズ調査の実施 ●関係団体・関係機関の連携による防災講座の開催 ●防災をテーマとしたフォーラムの開催	
宮前区	◆公園を活用した地域づくり	◎公園・地域づくり部会	●公園の利用促進に向けた魅力発信 ●コミュニティのきっかけづくり ●維持管理・運営の担い手、組織など	■21年３月 中間報告 ■21年12月14日 区長へ報告 ■22年３月27日 フォーラム 総括報告
	◆地域の宝物（顔）を通じた地域づくり	◎宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会	●小さな地域単位で資源を発掘 ●地域の資源を区全体で共有化 ●区全体の資源を内外へＰＲ	
多摩区	◆多摩区の魅力発信	◎環境・観光部会	●藤子・Ｆ・不二雄ミュージアムのアクセスロード整備 ●生田緑地の観光やＰＲ	■21年11月 中間報告 ■21年11月29日 フォーラム
	◆高齢者と世代間交流	◎地域コミュニティ部会	●コミュニティづくり ●道路整備 ●世代間交流 ●地域交通	
麻生区	◆全体テーマ 「心が響きあう地域づくり」 ・エコのまちあさおの推進 ・文化芸術・地域活性化 ・市民活動推進 ・地域交流・子育て	◎環境部会	●生ごみリサイクルと地産地消の取組 ●生ごみリサイクルと地産地消フォーラム開催 ●エコカルテの作成 ●環境家計簿コンテストへの協力	■２１年2～3月 出前フォーラム （3か所） ■21年11月29日 環境フォーラム ■22年２月7日 フォーラム
		◎地域交流部会	●文化芸術のまちづくり ●地域交流（世代間交流） ●あいさつが交しあえる地域づくり ●市民活動支援	

第2期　川崎区区民会議　　取　組　状　況

第２期区民会議の審議課題

１　審議課題
　審議テーマ「手をつなごう・地域のつながり」「地球環境とエコ」→それぞれ部会を設置
(1)「地域力・つながり」部会
　　人づくり・世代のつながり、防災訓練、外国人市民を中心に審議
(2)「区民が取り組む環境エコ」部会
　　地域緑化、地域や家庭での環境意識向上のための啓発・教育を中心に審議
２　課題抽出の方法
・各委員に審議課題に関するアンケートを実施→１７項目の提案
・提案項目を分野・項目ごとに４グループに整理し、上記２つの審議テーマを決定

各課題についての審議状況

　２つの専門部会が、審議の方向性を議論し、それぞれ「実行計画」を策定（下図参照）、実行計画に記載した取り組みの実施方法の検討・報告・振り返りを行った。

＜会議開催回数＞
１　全体会議（開催回数６回、「区民会議集会」１回）
２　専門部会（地域力・つながり部会８回、区民が取り組む環境エコ部会８回
　　課題解決の実効性を高める部会４回）

１　地域力・つながり部会（テーマ「手をつなごう、地域のつながり」）

解決策	取り組み状況
スポーツ（カローリング）を通じた交流の実施	・平成２１年７月から市体育館でカローリング教室、体験会を実施 ・地域への貸し出しを開始
シニア世代の地域活動参加促進ツアーの開催	・右上の表①に記載
「地域の縁側」の支援	・縁側の活動や新設に係る支援を協働推進事業で平成２２年度実施予定
防災訓練（防災フェア）への外国人市民や障害者などの参加促進	・平成２１年１１月大島地区連合町内会の実施した防災訓練に外国人市民約２０名が参加
東扇島東公園防災施設の視察	・地域住民を対象に東扇島東公園防災施設の視察を平成２２年３月２７日に実施。
外国人市民向けメルマガの配信	・右上の表②に記載
外国人市民向け広報の充実、強化	・区ホームページの外国人市民向けのページを更新 ・庁舎案内、業務案内、窓口案内の項目を追加

２　区民が取り組む環境エコ部会（テーマ「地球環境とエコ」）

解決策	取り組み状況
緑のカーテンづくり	・平成２１年５月区役所、大師・田島支所窓口でゴーヤーの種を配布し、緑のカーテンの栽培記録やゴーヤー料理の情報交換をする「緑のカーテンづくり会員」を募集。
第１期の「まちを花で飾る活動」の拡充	・海風の森をＭＡＺＵつくる会がアメリカンフットボールU-19（平成２１年３月開催）の際に会場である川崎球場周辺にプランターを設置。大会終了後は田島地区の商店街に移設。
公共施設の緑化推進	・公共施設（大師支所、田島支所、建設センター、衛生研究所）に緑のカーテンを設置 ・市役所第３庁舎に鉄パイプなどで作った枠にゴーヤーなどを巻きつけた緑のトンネルを設置（右上の表③に記載）
環境意識向上ポスターの作成	・右上の表④に記載
環境出前講座の実施	・区民団体を対象に、当該団体が通常の活動の中でできる環境にやさしい取り組みを紹介する環境出前講座を平成２１年１０月に実施
環境エコ期間（週間）の設定	・８月１日～１５日を環境エコ週間と設定。緑のトンネルを活用した「環境の広場展」を平成２１年８月５日に実施
環境先進企業見学の実施	・区内の川中島・東小田・藤崎・向小学校を対象に、平成２１年９月～１１月に環境に対して先進的な企業の見学を実施

特徴的な取組状況

①シニア世代の地域活動参加促進ツアーの実施
　シニア世代の地域参加を促進することを目的に、区民団体との協働により、平成２１年１１月「かわさき再発見！旧東海道川崎宿ウォーキングツアー」を開催。
　地域団体、区民会議の紹介のほか街歩きにより地域の魅力を見学した。

②外国人市民向けメルマガの配信
　外国人市民向けに行政情報、地域情報などを掲載した携帯メールマガジン「インターコムかわさきく」を区民団体との協働により、英語・中国語・ポルトガル語、スペイン語、やさしい日本語の５か国語で平成２１年７月配信開始。

（メルマガ受信画面→）

③市役所第３庁舎に緑のトンネルを設置
　公共施設の緑化推進の一環として、市役所第３庁舎の南側にある公開空地に、鉄パイプで組み立てた枠にゴーヤーを巻き付けた緑のトンネルを設置。（平成２１年６月～９月）
　また、同所において８月５日に打ち水やエコいけばな講座、環境紙芝居の実演等を行う「環境の広場展」を実施。

（←市役所第３庁舎に設置した緑のトンネル）

④環境意識向上ポスターの作成
　区内３小学校（藤崎・東小田・東大島）の児童が、環境エコを区民に呼びかけるポスターを作成。優秀作品３０点を川崎駅地下街アゼリアに掲示したほか、最優秀作品は印刷し、区内各所に掲示した。
（平成２１年７月～８月）

（最優秀作品→）

今後の課題（第３期に向けて）

　提案の実効性を高めることを目的に平成２１年６月「課題解決の実効性を高める部会」を設置。４回の審議を経て、平成２１年１２月の第２回区民会議全体会議において次のとおり提案し了承された。

（委員自らに関すること）
　◎十分な審議時間を確保するため、任期開始時期を７月から４月に変更
　　→平成２２年４月から第３期開始
（第３期委員への提案）
　◎審議関係情報の共有、会議への関係者招致による情報収集
　◎イベントでのチラシ配布や町内会掲示板などの広報媒体による区民会議ＰＲの実施
　◎「区民会議だからこそできる」取り組みの実施
（区への提案）
　◎若者、主婦や子育て世代などの地域人材を活用するために、委員選任方法として区長推薦を活用→第３期では区長推薦で２名選任
　◎的確な地域課題把握のため区民アンケートを実施→平成２１年１２月実施

第２期　幸区区民会議　取組状況

第２期区民会議の審議課題

１　審議課題

○地域コミュニティ活動の推進
・町内会・自治会活動の魅力と必要性について
・夢見ヶ崎動物公園周辺をコミュニティの拠点に
○地域防犯活動の推進
・地域での防犯活動について
・地域が青少年に関心を持ち、青少年が犯罪の被害者・加害者にならない取組について
○自転車通行のマナー向上について

２　課題抽出の方法

○委員による地域課題の抽出、提案等による。

３　その他

各課題についての審議状況

◎平成２０年度～平成２１年度

○全体会　７回（２０年度３回、２１年度４回）
○区民会議フォーラム　２回（２１年３月開催、２２年３月開催（予定））
・中間方針について
○部会
・企画運営部会　１１回
・安全・安心・生きがい部会　現地視察や審議など１３回（地域防犯活動の推進、自転車通行のマナー向上）
・子育て・環境・魅力づくり部会　現地視察や審議など１２回（地域コミュニティ活動の推進）
　このほか、部会委員の参加活動　３回、有志による視察　１回

特徴的な取組状況

１　部会制の活用

審議課題に応じ部会を設置し、現地視察など課題の現状把握に努めた審議を行った。

２　課題解決への取組

・地域防災の課題への解決に当たり、提言を踏まえ、要援護者支援のために、避難所運営に民生委員児童委員、社会福祉協議会の参加が図られた。
・夢見ヶ崎動物公園への案内の課題について提言し、サイン設置に当たり地域の方と協議会にともに参加し、課題解決に当たった。
・夢見ヶ崎動物公園の課題の解決方策として、具体的な検討の方策について検討を行い、検討委員会設置等の提言へとつなげることができた。

３　区民会議フォーラムの開催

・区民会議において検討している課題について、区民の方々との意見交換などを通じ、活動の周知を図っている。

今後の課題（第３期に向けて）

１　区民会議の周知方策

審議課題についての区民への周知向上方策

２　区民会議による提言についての実行方策

区民会議による課題解決方策へのかかわり方等の方策について

３　区民会議運営の活性化のための取組み

区民会議の審議等運営についての活性化のための取組み方法について

第２期　中原区区民会議　取 組 状 況

第２期区民会議の審議課題

＜会議開催状況＞

１　審議課題

○地域で取り組む放置自転車問題
- なぜ、放置自転車が多いのか。
- 放置自転車を減らすためにはどうすればよいのか。

○これからの地域コミュニティづくりを考える
- 地域の様々な課題を解決する「地域の力」を高めていくためには、どのような取り組みや活動が有効であるか。

○まちの魅力を見つける
- まちの魅力をどのように知らせるか。また、どのように気がつかせるか。

２　課題抽出の方法

○委員による地域課題の抽出、提案等による。

各課題についての審議状況

１　活動状況（平成２０年度～平成２１年度）

○全体会　８回
（２０年度４回、２１年度４回）
○専門部会
・運営部会　８回
・課題調査部会　４回
・協働推進事業検討部会　３回
○市民報告会
平成２２年５月予定

２　課題解決への取組（抜粋）

（放置自転車）
○啓発用のチラシ等を作成し、自転車利用者に対するマナー・モラル啓発活動を実施した。
（地域コミュニティ）
○「あいさつ」の実践によるコミュニティづくりを目指し、ポスターを作成した。
（まちの魅力）
○区の魅力を発信・共有するため、中原魅力紹介冊子を作成した。

特徴的な取組状況

１　新たな専門部会「課題調査部会」の設置

これまでの「運営部会」と「協働推進事業検討部会」に加え、課題についての検証・調査の充実を図るため、新たな専門部会として「課題調査部会」の設置を行った。

２　広報誌『なかはら区民会議だより』の創刊

区民会議の審議や取り組みの様子を広く市民に伝えるために発行した。年４回の区民会議開催に合わせて発行し、中原区役所企画課の窓口で配布のほか、区内の町内会・自治会を通じて各戸に回覧を行った。

＜区民会議だより第６号＞

３　市民活動団体との連携による課題解決

＜あいさつポスター＞

「地域コミュニティづくり」のテーマでは、「あいさつの実践によるコミュニティづくり」を区民会議の取り組みとして決定。まちづくり推進委員会が行っている「区内小中学校マナー・モラルアップポスター展」と連携し、あいさつポスターを作成し、あいさつを通したコミュニティづくりの促進を目指しました。

また、町内会連絡協議会と連携し、町内会・自治会の掲示板に掲出することで地域への啓発を図りました。

今後の課題（第３期に向けて）

１　区民意見の把握と反映について

どのように区民の意見を把握し、地域課題を選定していくか。

２　提言を実行する団体との連携について

区民会議による課題解決方策をどのように実現していくか。

３　区民会議の認知度向上について

区民会議の区民への認知度向上方策

第２期　高津区区民会議　取 組 状 況

第２期区民会議の審議課題

１　審議課題

（１）環境まちづくり（第１期からの継続課題）

（２）地域防災とコミュニティ（新規課題）

２　課題抽出の方法

第２期の区民会議の審議課題を選定するにあたり、まず、第１期区民会議の審議課題と取組状況を振り返った上で、第２期での取り扱いを検討した。また、区民や委員から寄せられた課題を整理し、課題の選定基準等に基づき課題の選定を行った。

３　その他

審議課題を選定するにあたり、課題として多く挙げられた「環境」「コミュニティ」「地域防災」に関する調査活動と学習会を開催した。

○調査活動（平成２０年９月２２日）

審議課題候補に関連するスポットを中心に現地調査を実施

○学習会（平成２０年１０月７日）

各課題についての審議状況

１　会議等の開催状況

○全体会議（８回開催）

○企画運営会議（１４回開催）

２　「環境まちづくり」について

「緑のカーテンコンテスト」に加え、身近な地球環境問題への実践的な取組の拡大に向けて、環境への多様な取組をコンクール形式で顕彰する「エコ・エネライフコンクール」の実施に向け検討を行い、主催団体の一つとして実施した。

３　「地域防災とコミュニティ」について

課題解決策として出された様々なアイデアを基に、具体化に向けた検討を行い、区民や行政、または区民と行政の協働により「自主防災組織に対するアンケート調査」や「自主防災組織備蓄品リストの作成」、「女性防災座談会」などの取組を実施した。また、今後さらなる取組につなげていくため、５つの提言を行う。

特徴的な取組状況

１　「アイデアを実行に！行動する高津区区民会議」

高津区区民会議では、「アイデアを実行に！行動する高津区区民会議」を合言葉に、課題に関する調査審議に加え、各委員が持つネットワークを活かしながら、区民会議として主体的に課題解決に向けた行動を起こしていくことを目指している。

２　「積極的な情報発信」

「たかつ区民会議ニュース」を年４回発行。各種会議等で配付するとともに、区内の町内会に回覧を行っている。またチラシを作成し、区民祭など様々なイベントで配付した。

３　「出前ミニ報告会の実施」

第２期区民会議の２年間にわたる審議結果を広く区民に報告するとともに、区民会議そのものの認識を深めてもらうため「出前ミニ報告会」を実施する。

いままで開催してきた区民会議主催による集会形式とは異なり、各委員が関係する団体等の各種会議等に合わせて、各委員がその場に出向き報告を行う。

今後の課題（第３期に向けて）

１　課題の把握・選定方法等について

・各委員の母体となる団体からの課題把握に努めるとともに、他の団体に課題を出してもらうよう区民会議として依頼することも必要である。

・一般の区民から意見を吸い上げる仕組みについても何か工夫をした方が良い。

２　審議結果の今後について

・今までの取組を振り返り、過去の審議課題も継続して検討する必要がある。

・区民会議としても継続的に関わり、進捗状況等を確認していくことも必要である。

・一つの団体では解決できないような課題でも、区民会議が仲介することで団体間の横のつながりができ、解決に向けて前進できれば良いと考える。

３　会議の運営方法等について

・企画運営会議を設置したことで、論点を整理することができ、全体会でも短い時間の中でスムーズにまた活発な意見交換ができたと考える。ただ、今後は、企画運営会議の委員と一般の委員との意見交換を図る場を設けるなどの工夫も必要である。

・今後、より議論が進み、専門的な審議が必要となった場合には、特別委員会のようなものの設置を検討する必要もあるのでは。

第2期　宮前区区民会議　取 組 状 況

第 2 期区民会議の審議課題

【共通の大テーマ】

・第 1 期区民会議で引き続き検討を要する課題とされた**地域コミュニティの活性化**を大きなテーマとして設定

・10 分野にグルーピングした地域課題のなかから、次の 2 つを審議テーマとして選定し、専門部会を設置して調査審議

【具体的な審議テーマと目指すべき方向性】

① **公園**を活用した地域コミュニティの活性化

→高齢者、緑、防災、青少年、子育てなどの課題解決の場として、公園を地域コミュニティの核として活用していく

② **地域資源**を活用した地域コミュニティの活性化

→文化・観光、地域情報、産業、シティセールスなど、地域みんなで共有できる宝物を発見し宮前の顔へ押し上げることを通して、地域への誇りや愛着を育み、地域コミュニティの活性化を図る

特徴的な取組状況

【審議への区民意見の反映】

・イベントの場を活用し、公園や地域資源に関するアンケートを実施

【委員の自主的な活動】

・プレイパーク(冒険あそび場)の取組事例を参考にするため、委員が自主的に横浜市のプレイパークを現地視察したり、関係者を招いて事例報告を受けたりして調査審議を行った

【担い手の確保】

・より実効性のある提案とするために、担い手を常に意識しながら議論。具体的な担い手がイメージできないアイデアは採用せず

・解決策取り組みの方法・手順まで提案。**区民みんなで取り組む**ため、具体的な担い手として、様々な団体等からなる実行委員会などを設立し、具体的な手法を検討、推進することを提案

各課題についての審議状況

平成 21 年 12 月 14 日に、課題解決策を取りまとめて区長へ報告

【公園を活用した地域コミュニティの活性化】

提案①：公園を知ってもらおう！～公園内に掲示板などを設置～

提案②：「冒険あそび場」をひろめよう！

提案③：もっと公園を楽しもう～宮前区公園月間の設定～

提案④：公園・緑地管理運営協議会をサポートしよう！

【地域資源を活用した地域コミュニティの活性化】

提案⑤：宮前区のカルタをつくろう！

→地区別カルタづくりから平成24年区政30周年で宮前カルタ大会へ。教育現場や街歩きなどでの活用も！

※　予算が必要なものについては、22 年度協働推進事業等で対応

今後の課題（第 3 期に向けて）

【より活発な審議】

・審議が部会中心で回っており、全体会ではその報告に終始しがちである。部会メンバー以外の委員の発言を引き出す工夫が必要

・発言をほとんどしない委員もおり、そうした委員からも発言を引き出す工夫が必要

【区民会議の認知度向上】

・公園体操など、区民会議からの提案を受けて区内に広まっていった取組もありながら、区民会議自体の知名度が今一つである

・委員からは、区民会議からの提案を受けて取り組んでいる事業については、チラシや成果物等に必ず**区民会議提案事業**と記述してはどうか、という意見も出ている

第２期　多摩区区民会議　取 組 状 況

第２期区民会議の審議課題

１　審議課題

審議課題	審議すべき内容
コミュニティづくり	町内会の活性化・加入促進
世代間交流	子どもが育つ環境から見た世代間交流
地域交通	多摩区の地域特性に適した地域交通
道路整備	多摩区の歩道や車道の現状と安全で安心な道路
藤子・Ｆ・不二雄ミュージアムのアクセスロード整備	平成２３年開館に向けて、安全で楽しいアクセスロードの整備に向けた意見

２　課題抽出の方法

地域コミュニティ部会

部会員から、日頃の活動等を通じて把握した課題を自由に提出

⇨ 緊急性、必要性、公益性、公平性及び実現性等の観点から絞込み

⇨
- コミュニティづくり
- 世代間交流
- 地域交通
- 道路整備

観光・環境部会

部会員から、観光・環境に関する課題を自由提出

⇨
- 五反田川と二ケ領用水沿いでの親水空間の整備
- 川沿いでの植樹の実施
- ごみ集積所や観光拠点でのゴミ箱整備
- 「藤子・Ｆ・不二雄ミュージアムのアクセスロード整備」

⇨ 開園を間近に控えており、緊急性から「藤子・Ｆ・不二雄ミュージアムのアクセスロード整備」に決定

特徴的な取組状況

１　地域コミュニティ部会での取り組み

特色がある様々な団体から推薦された委員、また色々な知識や意見を持っている公募委員の把握している区の課題を出来るだけ活かすために、テーマを１つに絞らず出来るだけ審議の対象にするとともに、効果的に審議するためにプレゼン方式を取り入れて効果的に審議を行った。

○ 多彩な課題を審議

○ プレゼン方式による効果的な審議

２　観光・環境部会での取り組み

「藤子・Ｆ・不二雄ミュージアムのアクセスロード整備」に関しては、課題抽出の際に行政から「藤子・Ｆ・不二雄ミュージアム」の開館について説明を行っていただくとともに、まち歩きによる現地調査も行った。

○ まち歩きによる課題把握

○ 藤子・Ｆ・不二雄ミュージアム整備準備室を招いての説明会の開催

３　フォーラムの開催について

中間報告書を取りまとめた段階で、区民会議の取り組み状況を区民に広く周知し、意見交換を行う区民会議フォーラムを開催した。区民会議の提言について、区民と意見交換を行うことにより、より区民意見を取り入れた最終報告書を取りまとめることができた。

○ １１月２９日（日）　区民会議フォーラムの実施

各課題についての審議状況

審議課題	審議状況
地域コミュニティ部会	
コミュニティづくり	町内会の必要性と課題を確認し、町内会の活性化に向けて、特に加入促進への取り組みについて審議を行った。 →町内会の適正規模や加入促進などについての研究と対策を行うことが必要。
世代間交流	子育て支援に関する現状と課題を確認し、子育てに必要な世代間交流と、交流の場作りについて審議を行った。 →公園を中心とした地域づくり、小学校、こども文化センター、老人いこいの家の連携など
地域交通	多摩区における地域特性と市内各地区の地域交通の取り組みを確認し、地域交通確立に向けた審議を行った。 →区内で活動中の交通システムを検討する団体を組織化し、コミュニティ交通の促進を図る
道路整備	多摩区の歩道や車道の現地を確認し、安全で安心な歩道・車道に向けて何が必要か審議を行った。 →稲尾橋交差点の渋滞対策、自転車通行ゾーンの設置など
観光・環境部会	
藤子・Ｆ・不二雄ミュージアムのアクセスロード整備	建設予定地まで実際に歩いて確認し、安全で楽しいアクセスロード整備について何が必要か審議を行った。 →向ヶ丘遊園駅と宿河原を起点にした歩行ルートについて、安全を基本に置きながら、楽しく歩ける工夫などを検討

今後の課題（第３期に向けて）

１　課題の抽出

課題が複数出た時に、どの課題から審議を行うか優先順位をつけるのが難しい。委員にとって、優先順位は、それぞれ違うので、全員が納得するテーマを決めることが難しい。

今回は、複数のテーマを審議する方法で行ったが、１つのテーマの区民会議での審議やフォーラムでの意見交換の時間が少なくなるなど弊害も出てきているので、検討を行う必要がある。

２　区民会議の隣接区交流について

地域課題の把握・解決には、区ごとの取組みのみならず、地域として共通の課題を抱えていると推察される区境での取り組みも必要である。隣接区交流会議を開催してはどうか。

- 各区からの委員数名で構成
- 区境周辺の問題を検討する。
- 環境、交通、催しなどをテーマとして

第２期　麻生区区民会議　取　組　状　況

第２期区民会議の審議課題

1　審議課題

全体テーマ　「心が響きあう地域づくり」

専門部会の取組課題（テーマ）

（1）企画部会

（ア）課題調整・広報広聴等に関すること

（イ）高齢者が輝く地域づくり（継続）

（2）地域交流部会

（ア）地域のつながり「あいさつ」がはじまり（継続）

（イ）文化芸術のまちづくり

（ウ）異世代間の交流

（エ）市民活動支援

（3）環境部会

（ア）地元農産物と地域交流（継続）

（イ）エコのまちあさおの推進

＊身近な地域からの地球温暖化対策、緑化活動等の実践など

＜区民会議開催状況＞

＜ゴーヤのカーテン＞

2　課題の選定・絞り方

委員全員からの意見聴取・区民からの提案（提案箱・アンケート・インターネットなど）

各課題についての審議状況

1　全体会議（開催回数　8 回）

2　企画部会（委員数 8 名、開催回数 7 回）

（1）　高齢者が輝く地域づくり

「老人いこいの家」の活性化に向けた提言（第 1 期区民会議）

関係局へ報告 ⇒

・「老人いこいの家」愛称募集

・「　　〃　　」利用者ｱﾝｹｰﾄの実施

3　地域交流部会（委員数 12 名、開催回数 11 回）

（1）　コミュニティづくりの事例集の作成（町内会・自治会・市民活動団体の取組事例など集約）

（2）「アルテリッカしんゆり」への側面支援

（3）異世代間の交流

（4）地域拠点の一つ「こども文化センター」の調査

⇒

＜モデル事業の実施＞

・「小学生による絵画展」

・「美化清掃活動」

・「エコバッグづくり」での交流

4　環境部会（委員数 8 名、開催回数 12 回）

（1）生ごみリサイクルと地産地消の取組

（ア）モデル事業の実施・・・レストランあさお・東京農大・区内農家・食生活改善推進員連絡協議会・環境局が協働して実施（H21.6～ 毎月食育の日に実施）

（イ）　フォーラムの開催・・・H21.11.29　参加者 132 名。写真展も同時開催

（2）麻生区エコカルテの作成・・・環境学習用の「データ・取組事例集」の作成・配布

（3）「麻生まちづくり市民の会」が取組む、環境家計簿コンテストに協力

特徴的な取組状況

自治基本条例の３つの基本原則「参加」「協働」「情報共有」に沿った取組の実施。

1．参加の原則

（1）フォーラムの開催

＊区民会議出前フォーラム（H20.2～3 月　区内 3 箇所で開催。延べ参加者 約 100 名）

＊生ごみリサイクルと地産地消フォーラム（H21.11.29 開催。参加者 132 名）

東京農大、明治大学、市民活動団体、JA セレサ川崎などとの協働

＊区民会議フォーラム（H22.2.7 開催。参加者 130 名）

町内会・自治会活動の紹介展示ブース設置、事例紹介。

（2）提案箱の設置・・・区役所ロビー（常設）

（3）傍聴者・参加者等へのアンケート実施・・・本会議・専門部会・各フォーラム開催時

2．協働の原則

モデル事業の実施

調査審議を進めていく中で、担い手となる団体等と協働してモデル事業を実施。その成果を検証して提言につなげていく。

＜絵画展と美化清掃活動＞

＜地産地消の取組＞

3．情報共有の原則

（1）区民会議ニュースの発行　・・・委員が手作りで、企画・編集・印刷・袋詰め作業

（2）ホームページによる情報発信・・・本会議・専門部会の摘録・資料等を掲載

今後の課題（第３期に向けて）

1　課題等の継続性について

第１・２期の未解決課題や継続的な取組について、その成果などを検証すると同時に区民会議としての継続性も踏まえながら、第３期の課題（テーマ）選定や取組を期待したい。

2　既存組織等との協働・連携について

町内会・自治会、まちづくり市民の会などの既存住民組織等との連携の更なる充実を図っていくことが必要と思われる。

3　認知度向上に向けた取組について

審議調査事項・取組内容について、広く区民の方に広報していくことが継続的に必要と思われる。

＜現在の取組＞

・区民会議フォーラム開催

・区民会議ニュースの発行

・市政だより区版・区役所ホームページへの情報公開

・委員の人的ネットワークを活用した広報活動

など